

天龍木材㈱ 平成25年3月期・第2四半期累計決算の概要

1. 第2四半期累計(平成24年4月～9月)業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として企業収益や個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調にあります。欧州債務問題と中国経済の減速が懸念されており、また、円高の長期化等もあり、景気の先行き不透明感は依然として払拭されないまま推移しております。

住宅関連業界におきましては、住宅取得促進策の効果や復興関連需要等により、新設住宅着工戸数は44万2千戸(前年同四半期比2.4%増加)となり、持ち直しの動きが見られるものの、デフレ経済の中で価格競争は依然として厳しい状況で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の最終年度として、更なる収益性並びに財務体質の改善のための諸施策に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は82億7百万円(前年同四半期比8.8%増加)となりました。損益面では、競争激化による利益率の低下等もあり、営業利益1億52百万円(前年同四半期比14.2%減少)、経常利益47百万円(前年同四半期比30.9%減少)となりました。また、東日本大震災により被災した当社石巻支店の施設・設備の復旧整備に要する経費について、補助金収入89百万円を特別利益に計上するとともに、固定資産圧縮損76百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は50百万円(前年同四半期比2.1%減少)となりました。

(セグメント別業績)

木材事業につきましては、石巻支店製材工場の操業再開により営業活動が本格化したこと等から、売上高が前年同四半期に比べ増加しました。

建材事業につきましては、営業体制の見直しによる商物品等の売上増加があったものの、震災の影響により仮設住宅向けの二次加工合板を中心に需要が増加した前年同四半期に比べ取り扱い数量が減少したこと等から、売上高が、前年同四半期に比べ減少しました。

プレカット事業につきましては、地域密着の営業活動により受注を確保するとともに、住宅周辺業務の強化に努めましたが、中小工務店からの受注物件が第3四半期以降にずれ込んだことにより売上高が前年同四半期に比べ減少しました。また、不動産賃貸事業は、昨年10月に天龍東京ビル(テナントビル)を売却したことにより、不動産賃貸収入が前年同四半期に比べ減少しました。

・業績比較表

(金額単位：百万円)

	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	増減額	増減率
売上高	8,207	7,547	660	8.8%
営業利益	152	178	△26	△14.2%
経常利益	47	69	△22	△30.9%
四半期純利益	50	51	△1	△2.1%

・業績推移表

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第2四半期(累計)	
	当期	前期	当期	前期	当期	前期
売上高	3,788	3,434	4,419	4,113	8,207	7,547
営業利益	22	65	130	113	152	178
経常利益	△6	10	53	59	47	69
四半期純利益	△15	-	65	51	50	51

2. 通期業績予想について

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における実績の動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想を次のとおり修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(単位：百万円)

	連結業績		個別業績	
	通期予想	(参考)前期実績	通期予想	(参考)前期実績
売上高	17,135	16,018	16,466	15,350
営業利益	428	313	398	286
経常利益	197	88	204	99
当期純利益	202	123	200	149

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上